

DPF虚偽データ経緯

	時系列的事実認識	
	規制その他の状況	当社・ピュアース (PE) の動き
1998年 (平成10年) 以前		
		1997年5月、社員Cが無機・肥料本部無機原料部企画開発Gチームリーダーに就任 (この頃より、DPF開発事業に着手)
1999年 (平成11年)		
8月	東京都が「ディーゼル車NO作戦」(STEP 1)を発表	二輪車用排ガス浄化装置製造担当のAを昭和飛行機から出向受入
12月	東京都が「ディーゼル車NO作戦」(STEP 2)を発表	
2000年 (平成12年)		
4月		JM社、昭和飛行機、当社間で触媒システムに関する秘密保持契約を締結
12月	都「環境確保条例」公布、PM規制を条例化 (施行は2001年4月)	
2001年 (平成13年)		
1月		
2月		301Aタイプを都バス2台に装着、耐久試験
6月	都「PM減少装置指定要綱」制定	
7月		301Aタイプの指定承認申請 (7月24日)
8月		
9月		301Aタイプの認定取得 (9月10日) <一般路線バスに限定>
10月		301Aタイプ改良型 (後のBタイプの原形) を都バス24台に試験的に装着 (うち2台に溶損事故発生)
12月		昭和飛行機との共同事業化案を事実上断念
2002年 (平成14年)		
1月		
2月		第三者試験機関において性能試験データ収集 (2月9日～11日)
3月		301Bタイプの指定承認申請 (2月18日)
4月		02/3期販売台数 506台 2002年2月の301Bタイプ申請に対し、一部の車種に限り認定取得 (4月4日) <路線バス用>
5月	七都県市「PM減少装置指定要綱」制定	2002年2月の301Bタイプ申請に対し、対象路線バス車種拡大認定取得 (5月23日) 301Aタイプの認定取消 (301Bタイプに統合し製造中止したため) (5月23日)
6月		第三者試験機関において性能試験データ収集 (6月22日～23日)
7月		301Bタイプ形状変更届提出 (7月30日) <翌31日受理→変更後の形状が量産タイプとなる>
8月		
9月		PE社*設立 (資本金2億円、当社100%、以後、研究開発、試験、製造、メンテを担う)
10月		
11月		
12月	都の独自実装テスト (東京都環境科学研究所) (PM減少率40%)	
2003年 (平成15年)		
1月		長崎で都職員立会いの性能試験 (1月16日～18日)
2月		
3月		03/3期販売台数 1,700
4月	七都県市にさいたま市が加わって八都県市に	
5月		301B範囲拡大認定取得 (5月2日) <結果、排気量35,000ccまでの全てのバス・トラックに対応>
6月		
7月		本格的量産 (御殿場工場)
8月		
9月		
10月	PM規制 (平成15年規制)開始	
2004年 (平成16年)		
3月		04/3期販売台数 19,000
4月		
5月		PE社内部監査
6月		
7月		内部監査報告 (7月14日及び15日) (社内規定の不備、経費管理不徹底、等を指摘)
10月		PE社再監査開始 (10月15日)

JM社：Johnson Matthey社

虚偽データ作成

関与者：出向受入嘱託 A
当社社員 B
(計2名)

虚偽データ作成

関与者：出向受入嘱託 A
当社社員 B
(計2名)

PE社：ピュアース㈱

虚偽データ作成

関与者：PE社副社長 A
(元当社嘱託)

当社社員 B
当社社員 C
PE社社員 D
(計4名)